

工事中断中の堀池地域雨水貯留施設整備工事

宇治市、設計会社に損害賠償を求め提訴へ

「下水道管の地下埋設は、道路管理者の所管の担当課は承知していたが、工事の担当課は承知していなかった」と部長

宇治市は、堀池地域の雨水貯留管整備工事の設計業者を「設計不備」で提訴する考えを9月6日の建設水道委員会に報告しました。

市は、「23年5月に推進機械が停止したことは、本事業の基本設計や詳細設計業務の受注者が業務上必要な地下埋設物の資料収集を実施せず、設計内容に不備があったことが原因で推進機械の停止。工事の中止によって増加した工事費、新たに必要となった設計業務委託費用などの損害が発生していることから、これまで責任の所在や損害への対応について受注者と協議

を進めてきたが、進展が望めない状況となっている」とのことです。

党議員が、昨年の9月定例会で、「納品された成果物（「設計図書」）の検収はしていたのか。市道小倉安田線（通称「山音道」）の地下には府の下水道管が埋設していることを市は承知していなかったのか。設計図書をチェックできていなかったのではないか」との追及に建設部長は「道路管理者である所管の課は承知していたが、雨水貯留管整備工事を担当している課では承知していなかった」と答弁し、市のチェックミスを認めようとしていません。

傍聴においてください



徳永未来議員
9月26日(木)
2番目(午前) ○子育て支援について(18歳までの医療費無償化、給食費無償化、高校生の通学定期購入支援など)
○電動自転車の購入補助について



坂本優子議員
9月27日(金)
1番目(午前) ○物価高騰対策について
○マイナ保険証について
○(仮想)ミサイル攻撃への避難訓練について



大河直幸議員
9月27日(金)
5番目(午前) ○北陸新幹線について
○子育て・教育費の負担軽減について



谷上晴彦議員
9月30日(月)
1番目(午前) ○水道事業について
○交通不便な地域の解消について
○有機フッ素化合物PFASについて



宮本繁夫議員
9月30日(月)
4番目(午後) ○松村市政の4年間について
○公営企業事業のあり方について
○近鉄小倉駅周辺整備について

防衛省概算要求

“自爆”ドローン310機導入へ
ガザ虐殺荷担

イスラエル製が選択肢

防衛省は2025年度概算要求で、地上の標的を自動飛行して攻撃する小型無人攻撃機（攻撃型ドローン）の取得費30億円を初計上しました。同省は約310機の取得を計画し、イスラエル製を有力な選択肢にあげていることがわかりました。イスラエル軍は自国製の攻撃型ドローンをパレスチナ・ガザ地区攻撃の主力兵器として使用しています。ジェノサイド（集団殺害）に武器を供給する「死の商人」を潤すことは、国際法違反の殺りくに事実上、加担することになります。日本政府の姿勢が問われます。（24.9.15「しんぶん赤旗」）



